

報こすど

館知所日 小須戸町公民館
発行所 野良印刷
発行人 間野印
印刷所 玉庭月部

新年度予算

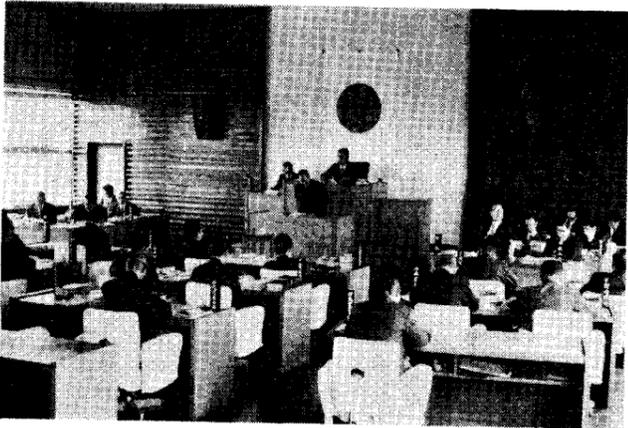
四億二千六十二万円

三月定例議会で決定

新年度予算、町づくり総合計画その他重要案件を順上に活発に議論された三月定例議会も、去る十八日に無事五日間の会期を終了した。今回は一部新聞誌上を賑わした幼稚園暖房施設の工事変更等の問題で今までにない激しい議論の展開もあったが、それだけに又内容のある真剣な審議であったと思う。当局並びに議員諸公の労を多としたい。

町長施政方針演説の概要

一、新年度予算について
四十六年度予算執行についてはどうやら一千万円の赤字となり次年度へ繰越すことになりました。新年度予算の総額は四二〇六二万三千円で次の事項を重点施策としました。
1、社会福祉施設の建設並びに事業の振興
イ七十五才以上の老人医療費の公費負担
ロ老人憩いの家建設
ハ児童遊園の建設
ニ住民の血液型カードの作成
2、幼児教育の充実
イ幼稚園の開設
ロ合同保育所の建設
3、下水路の整備改良
4、町道の改良舗装
その他公営住宅の建設
林道事業の継続、ゴミ焼却場増設工事(白根)への投資等
二、町づくり総合計画について
町の長期総合計画策定



ただいま議会開会中

昭和47年度予算

(歳入の部)				(歳出の部)			
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	款	本年度予算額	前年度予算額	比較
町	97,044	86,312	10,732	歳入合計	420,623	402,907	17,716
地方譲与税	1,000	—	1,000	歳出合計	420,623	402,907	17,716
自動車取得税交付金	3,000	2,800	200	一般会務費	12,247	9,809	2,438
地方交付税	177,510	145,000	32,510	議総民衛生産費	52,873	44,796	8,077
交通安全対策交付金	405	190	215	林水産業費	54,945	36,565	18,380
分担金及負担金	8,255	7,925	330	農工商土木防衛費	33,005	24,169	8,836
使用料手数料	11,473	8,048	3,425	林業費	28,811	22,375	6,436
国庫支出金	26,089	37,462	△11,373	工業費	19,020	18,440	580
県庫支出金	13,800	14,551	△751	土木費	89,019	119,724	△30,705
国庫収入	1,819	2,251	△432	教育費	17,645	18,690	△1,045
県庫収入	2,047	1,058	989	費外費	85,570	80,383	5,187
繰越金	100	10,000	△9,900	雑費	26,478	27,236	△758
諸町収	6,500	171	6,329	雑費	10	10	—
町債	47,151	42,239	4,912	雑費	1,000	710	290
町債	24,400	44,900	△20,500	雑費	—	—	—
歳入合計	420,623	402,907	17,716	雑費	—	—	—

すが、県より通知を受けました本年減産目標量五〇二トン、売渡予約限度量二六八五トンについて、農業団体と協議の上前年通り実施の考えであります。
五、花卉モデル集団育成事業の受入れ
稲作転換助成策として国が計画実施しているこの事業(全国一五ヶ所)を受入れ、小須戸町を花卉園芸の大産地拠点とするため、農協、園芸業者と協力のものと実現を期しております。
六、特別職の給与改訂について
他市町村にならって本町でも審議会にはかり、新年度より実施したいと考えております。
七、国保税の引き上げについて
療養給付費の増高と受診率の自然増を勘案して県では保険税の一五%引上げを指導しております。
本町ではこれを一部一般会計より繰入れることにより一五%に抑えて、あとは徴税率の引上げ等運営面で努力したいと考えております。

収入役を勇退させる

た。町役場在職二十八年八カ月(内収入役十二年)の間始終公僕的信念に徹して職務に専念され、特に収入役として町財政の元締めを立派に果たされた功績は誠に大きなものがあると思えます。
長い間本場に御苦勞様でありました。
ありませぬ。町の女房役として最も適任者でありましょう。
収入役 上田 友男
長い間総務課長として練達堪能の手腕を發揮され町政上の生力的存在でありました。今回の抜擢は誠に當を得たものでありませぬ。
尚両氏とも当年五十四才の働きざかり、今後の活躍を切にお祈りいたします。

町主脳部人事

収入役 上田 友男
長い間総務課長として練達堪能の手腕を發揮され町政上の生力的存在でありました。今回の抜擢は誠に當を得たものでありませぬ。
尚両氏とも当年五十四才の働きざかり、今後の活躍を切にお祈りいたします。

就任のご挨拶



助役 柗田 奈賀雄

私は四十二年四月以来町議会議員の一人としてこの三月町議会定例会においで、はからず町長のご推せんをいただき、町議会の一致したご同意を得まして、助役として町政に参与する機会を与えていただきましたことには私にとりましてまことに光栄であり、また感激の至りでありませぬ。
もとより浅学非才その任ではないかもしれませぬが、幸い町長をはじめ

就任のご挨拶



収入役 上田 友男

この度町長さんのご推薦により、さる三月の定例議会において議員の皆様からのご同意を得、四月一日より小須戸町収入役に就任することになりました。
私はもとより浅学非才その器ではないとは存じますが、責任の重大さを痛感すると、ことさらに身の引きしまる思いがいたします。
しかしながらせつかくのご同意でもありますが自らの心にむち打ち尚一層精進をいたし、まわりのない出納事務の完璧を期したいと念願いたしております。
なお前早川収入役さんが過去十二年の間、立派な足跡をのこされたこの業績を汚すことなく誠心誠意努力することは、いうまでもございませんが、小須戸町の三年間の生活は私にとっては忘れられないものであります。今こうして筆をとっていても皆様のご親切な心が私の胸を打ちます。どうぞ小須戸の皆様お元気で、ご多幸をお祈り申し上げます。代えさせていただきます。

小須戸小学校長

浅岡先生ご勇退

温和なご人格、高邁なご識見で多くの業績を残された浅岡先生が惜しまれながらご勇退になりました。
ました。先生の幸せな御余生を心よりお祈りいたします。

退任に当って

浅岡 嘉久吉



私は三月三十一日付で定年退職し、四十一年の教員生活から去ることになりました。
小須戸町の三年間の生活は私にとっては忘れられないものであります。今こうして筆をとっていても皆様のご親切な心が私の胸を打ちます。どうぞ小須戸の皆様お元気で、ご多幸をお祈り申し上げます。代えさせていただきます。

鎌倉保育園が矢代田へ統合されました

三月末日をもって鎌倉保育園を廃止、第二保育園と一緒になりました。
三才児一〇名、四才児六名、計十六名ですが、スクールバスで送迎することにしています。よい子たちの元気で通園することをねがっています。

おわび

スペースの都合により続風土記は、休載します。

訂正

前号広報二面中、母子手帳の発行日は毎週月曜日です。訂正します。

御寄附三題

○五十嵐町長さんより母堂御逝去の香典返しとして老人クラブへ金十万円
○五十嵐徳次さんより公民館会議室を飾る額二枚
○新保太助さんのお婆ちゃん川瀬ノイさん(七十六才)より小須戸小へ手縫いの雑巾八〇枚
お婆ちゃん、どうもありがとうございました。

